

森のおくりもの

8

月



『ミヤマクワガタ』

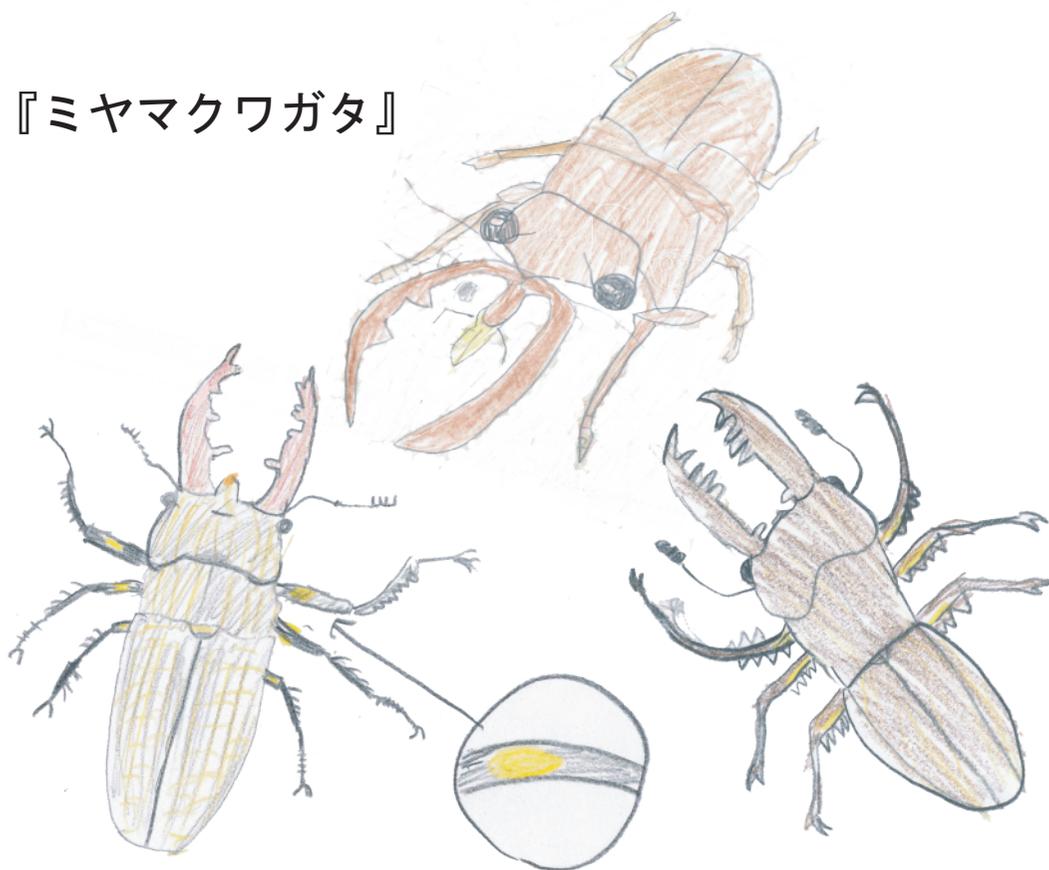


イラスト:左から 高橋温くん(6年生)・大場一花ちゃん・高橋健くん(4年生)

暑い夏がやってきました。ガラガラと照りつける太陽の季節です。でも、森の中は意外に涼しくすごしやすいものです。笹川のせせらぎや鳥の声、そして虫の鳴き声などを聞きながら、緑の中でのんびりするの小さな贅沢かもしれません。そんな森が皆様をお待ちしております。

(館長 菊池)



センターの玄関ポーチの段になっている所に、何か物体がずるずる動いていました。よくみたら、自分よりも大きいコアシダカグモを運んでいる「オオモンクロベッコウ」というハチでした。

自分より大きな獲物を狩るよ

麻酔をうたれたコアシダカグモはなぜか、全部の脚をあげている

和名は大きな斑紋をもつ黒いベッコウバチという意味で、体や翅はほぼ真っ黒ですが、腹部に一对の橙色の斑紋があることが名前の由来です。

大きさ:30mmくらい

麻酔をもっているのよ

ベッコウバチの仲間は、幼虫がクモを食べて育ちます。1匹の幼虫に対して1匹のクモしか与えません。アシナガバチやミツバチのような集団生活はせず、それぞれの個体が単独で生活しています。オスと出会い、交尾を終えたメスは、地面に穴を掘って簡単な巣を作ったあと、あちこち飛び回ってクモを探し、次世代のために自分より大きなクモを捕まえて巣の中に入れます。このとき、クモが暴れないように毒針で刺し（殺さず、麻酔をかけて動かないようにし）ます。こうしておけば、クモは腐ることなく長持ちするのです。センターの玄関で見かけたオオモンクロベッコウは、何度も場所を確認しながら勝手口の側溝の中に獲物を運び入れました。側溝に巣があるのかどうかは、わかりませんが、きっと巣穴に入れたクモに卵を産みつけ、卵から孵化した幼虫は、麻酔が効いて動けないクモを食べて育つのでしょうか。やがて大きくなった幼虫は蛹となり、（寄生されていないければ）羽化して巣穴の外に出てくるのです。麻酔をうたれ動かないにしても、大きなクモを運ぶのはかなり重労働だと思いますよ。お母さんは力持ちですね。

8月の生物ごよみ

植物

	7月		8月		9月
	下旬	月上旬	中旬	下旬	月上旬
リョウブ					
フシグロセンノウ					
キツネノカミソリ					
コバギボウシ					
キツリフネ					
ナンブアザミ					

セミの声がなり響きチョウやトンボが飛ぶあつ〜い夏がやってきました。正直、こんな日は仕事をほおり投げてロンドンオリンピックでも見ながらビールと枝豆なんて気分なのですがそうもいかず、まずは植物情報を！

毎年七月ごろに咲く『リョウブ』の花が今年は少ないみたいです。少ないというかセンター付近では全然見当たりません。「遅れているのかな？」と思い見てみると花芽自体が見つかりません。今年はマンサクの花も少なかったし、そういう年ってあるんですね。リョウブは『虫のレストラン』でチョウやハナムグリの仲間、ハチの仲間などたくさんの虫たちが集まってきます。そのリョウブの花が咲かないのは虫たちにとってもすごく残念です。来年に期待したいと思います。 【レンジャー：齋 正宏】

昆虫

	7月		8月		9月
	下旬	月上旬	中旬	下旬	月上旬
カブトムシ					
オオムラサキ					
オニヤンマ					
アブラゼミ					

レンジャー発 木もれびBLOG



略してコモプロ 第3回『夜の森で出会ったのは何?』

7月14日の夕暮れ、参加者の方々が集まってきました。この日は「かんさつ!たんけん!夜の森」というイベントの日。集まってきた子供たちは夜の森という未知の空間にどんな期待をしているのでしょうか? この日のイベントは、募集開始25分で定員いっぱいになってしまい、参加を希望していただいた多くの皆さんをお断りすることになってしまいました。

さて、ドキドキしながら待っていた参加者の顔が見えづらくなってきたころ、空を飛ぶ小さな影が! アブラコウモリです! コウモリ類はヒトの耳に聞こえない声を発して昆虫の位置を知りますが、その声をヒトの耳にも聞こえるように変換する装置を使って、みんなでコウモリの声を聞きました。虫に近づくと「ピピピピ……」という早い調子に変わり、コウモリの緊張が伝わってくるようでした。



その後、すっかり日が暮れて、足元が見えなくなってきた森に入りました。なるべくライトを使わずに目を暗闇に馴染ませ、かすかな気配に全身の神経を傾けます。…その時、暗闇につつまれた森のなかに、一筋の光が! 今年もゲンジボタルに出会えました!



この日は3匹がゆ〜っくりと森の中を飛んでくれました(ありがとう)。このほかにはゲンジボタルと光るタイミングや光の色が違うヒメボタル、光りながら歩くクロマドボタルの幼虫などにも会うことができました。また、羽化する場所を探して木を登るヒグラシの幼虫や樹液をめぐって良い場所を取り合うカブトムシのオスも観察することができ、普段は夕食を食べたりお風呂に入っている時間にも、森ではいろいろなドラマが起きていることを実感してイベントを終了しました。

皆さんの心に一番残ったものはなんだったのでしょうか?



暗闇のなか、カブトムシに見入る夜の森の住人たち

【レンジャー：高橋 千尋】

※今回はイベント報告を掲載したため「自然観察基礎のきそ」はお休みさせていただきました。

今年も見られました！そして、暑い夏がやってきました！

ついに8月です。暑い暑い夏がやってきました。森の中で涼しくのんびりできる場所を探するのも真夏の森の楽しみのひとつではないでしょうか。

さて、去年の「森のおくりもの」8月号でご紹介いたしました「ミミブサタケ」が今年も現れました。あまり見ることができない比較的珍しいキノコと紹介したにもかかわらず、今年も昨年に引き続き見られることになってしまいました。「自然のことですから」と言ってしまうとそれまでですが、予想外でありました。

しかし、その予想外のおかげで、ガイドウォークに参加された皆様に、このキノコの特徴のひとつを楽しんでいただくことができたようです。というのも、このキノコは、空気の振動で煙状に胞子を放出するという性質をもっており、この様子を参加者の皆様に楽しんでいただきました。

このように煙のように胞子を放出するキノコというと、「キツネノチャブクロ」の別名でよく知られている「ホコリタケ」が思い浮びます。しかし、これは強引に押しつぶしたりしてはじめて放出を見ることができるものです。

これに対し、「ミミブサタケ」の方は、ちょっとした空気の振動や風があっただけで煙のように大量の胞子を放出するため、他では体験できないおもしろさがあると思います。

来年もまた「ミミブサタケ」が発生するようであれば、今度はぜひもうひとつの特徴の地中にある菌核を観察していただけますよう考えております。期待してお待ちください。

特に今年の気候の状況から、太白山自然観察の森で発生するキノコの種類は多いものと期待されます。園内で珍しいキノコを見つければ今年こそできるだけたくさん紹介してみたいと思っております。

なお、園内では多くの皆様に観察していただけるように、キノコについても他の動植物同様に採取をお断りしておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



【館長 菊池】

8月の催し

「虫のいどころ」

8/25(土)

10:00~11:30

真夏の昆虫さがしの極意を
プロから直接学びませんか？

【定員】15名

【持ち物】

動きやすい服装、
熱中症対策グッズなど
※捕虫道具は必要あり
ません。

申

込み⇒ 8/7(火)

午前9時から電話で受け付けます。お早めに！



「夏休み 生き物相談室」

夏休み期間中開催！

【対象】小・中学生

受付時間

9:00~15:00

生き物に関する疑問や質問にお答えします。
その都度、電話にてご予約下さい。



※8/4(土)に「キッズ昆虫たんけん隊」を開催しますが、受け付けは終了しています。

毎週
日曜は

「ガイドウォーク」の日！

8月のテーマは『夏の人気者たち』です

実施日：5日、12日、19日、26日

10:00~11:30 & 13:30~15:00

申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。

◆26日午後は館長がご案内する
「館長と森を歩こう」です。

表紙の絵を募集します。

里山や自然に関するものを描いてね！
レンジャーからのプレゼントがあるよっ！

8月の休館日

6日、13日、
20日、27日

♪森へおいでください♪



宮城交通バス

仙台駅前バスプール7番 または 長町駅前から
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター



車

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



定期購読のお知らせ

住所・氏名・電話番号と、何月号から希望かを明記のうえ、80円切手12枚を同封して、自然観察センターまでお申し込みください。

2012年8月号(毎月1回5日発行)

発行：(公財)仙台市公園緑地協会

編集：仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター

〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

TEL: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

E-mail: taihakusan_moushikomi@sendai-green-association.jp

*「社のひろば」のURLにカラーで「森のおくりもの」が載っています。→<http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>